

(P18)

事業No.	事業	内容	行動目標	平成28年度の取組と実績	平成28年度の取組と実績の評価 (効果及び課題)	今後の改善項目	担当課
1252	保育所・幼稚園の地域開放	保育所・幼稚園を開放し、在宅の親子と保育所・幼稚園の子どもたちや地域の人々との交流を促進します。家に閉じこもりがちな子育てをする保護者への支援を図ります。	質的充実	<p>(保育所) 「ともだち広場」と称して5か所の保育所で地域開放を実施した。 ・実施回数 177回 ・利用者数 2,999人(大人 1,367人 子ども 1,632人) ・地域開放における子育て相談件数 延べ110件</p> <p>(幼稚園) 園舎・園庭開放を市立幼稚園12園で実施した。 ・実施回数 127回、参加人数 延べ5,393人 夏期園庭開放を市立幼稚園5園で実施した。 ・実施回数 75回、参加人数 延べ859人 子育て相談室を市立幼稚園12園において実施した。 ・利用件数 延べ200件</p>	<p>【行政】(保育所) 気象状況や感染症発症時には中止していることもあり、回数は減っているが、雨天でも保育室やホールを使用できるように工夫したり、内容については継続参加になるような工夫をしたり、同年齢の入所児と一緒に遊べる取組を実施した。</p> <p>(幼稚園) 園舎・園庭開放については、地域在住の親同士の交流や園児と在宅の幼児同士のつながりがもてるよう、内容を検討しながら実施した。 子育て相談件数は、減少したが、一方で園舎、園庭開放参加人数は286人増加した。</p> <p>【市民】(保育所) 参加者から雨天時にも開催してほしいという意見があった。 (幼稚園) 参加者へのアンケート調査の結果、親子や在園児と交流できてよかったなどの意見があった。</p>	<p>(保育所) 落ち着いた相談場所の確保や専任職員の配置などの課題があるが、引き続き、在宅の子どもや保護者の支援になるよう取組を進める。公立保育所では地域支援担当保育士、看護師の配置により、地域開放以外の地域支援についても、取り組む。</p> <p>(幼稚園) 引き続き、幼稚園のホームページや市の広報メディアを活用し、在宅の親子への周知を図り、保護者ニーズに応じた支援に努める。また、各機関とも連携し、園の施設を活用した支援事業にも協力していく。</p>	保育幼稚園 総務課 (旧:保育幼稚園課)

(P45)

事業No.	事業	内容	行動目標	平成28年度の取組と実績	平成28年度の取組と実績の評価 (効果及び課題)	今後の改善項目	担当課
2217	障害児保育	障害児保育の充実に向けて、人的・物的な環境整備を図るとともに、心理判定員の保育所への定期的な巡回に努めます。	質的充実	<p>公私立保育所共に障害児保育を実施した。 ・要配慮児童数 ()内は障害児保育枠入所児童数 公立 108人(6人)、前年度と比較し3人減 私立 586人(15人)、前年度と比較し48人増 ※民営化による減 要配慮児童の数、状況に応じ加配保育士を配置した。 ・人的環境(加配保育士の配置数) 公立 29人(うち1人は看護師)、私立 128人 個別支援計画を作成し支援を行う。</p> <p>障害児保育連続講座を年間5回、系統立てた内容で実施した。 公立保育所は、加配保育士を対象に連続講座とは別に支援計画の立て方について研修を実施した。 ※心理巡回相談については事業No1214に記載</p>	<p>【行政】子どもの発達過程や行動理解ができるようになってきており、支援につながっている。</p>	<p>今後も、人的物的環境を配慮すると共に研修の充実を図り、個人支援と共に育ちの視点で保育を実施する。</p>	保育幼稚園 総務課 (旧:保育幼稚園課)